



日本共産党95周年

歴史に立ち、未来切り開く

歴史的な大激動の中で

日本共産党は1922年(大正11年)7月15日の創立から95周年を迎えました。
日本共産党が躍進し自民党が歴史的な大敗を喫した東京都議選、人類史上初の核兵器禁止条約の採択。党の節目となる記念日を国内外ともに歴史的な大激動が進行する中で迎えたことは特別の感慨があります。

党創立以来の1世紀近い歴史には、国民の利益擁護、平和と民主主義の旗を不屈に掲げ、時代を切り開いた歩みがしっかりと刻まれています。その到達に立ち、未来に向けて多くの国民と力を合わせ、日本の新しい政治を進めるために、さらに使命を果たしていく決意です。

先駆性をいまに引き継ぎ

95年前、日本共産党が創立された戦前日本は、いまでは想像もできない「天皇絶対」の専制政治・人権抑圧体制でした。国民の自由な発言は許されず異論を唱えれば容赦なく弾圧されました。共産党は誕生とともに非合法として活動せざるをえませんでした。いまのG7(主要7カ国)参加国にも当時、共産党が生まれましたが、これほど異常で過酷な弾圧にさらされたのは日本だけです。

日本共産党は侵略戦争と植民地支配に反対し、反戦平和・自由と民主主義のために、文字通り命をかけてたたかい抜きました。多くの先輩が逮捕、投獄され、拷問で殺害されました。戦前の勇気あるたたかひの先駆性は、日本が敗戦の際受け入れた「ポツダム宣言」で、あの戦争は侵略戦争だと認定され、戦後の憲法に戦争放棄、主権在民が明記されたことなどに、はっきりと証明されています。

憲法改悪は歴史の大逆行

安倍晋三政権の改憲策動は、日本国憲法下でつくられた戦後日本のあり方を根本的に変える

歴史の大逆流に他なりません。現代版治安維持法ともいえる「共謀罪」法の強行、「教育勅語」復権など「戦前の復活」への暴走には、「国政私物化」や問答無用の強権手法とともに、保守の人たちからも強い危機感が表明され自民党の支持基盤を揺るがす事態を迎えています。それは都議選で自民党の大惨敗という形で、劇的に示されました。

安倍内閣と対決する共産党への期待

都議選での日本共産党の躍進は、安倍暴走政治と真正面から対決する揺るがぬ党の姿勢への期待の表れです。安倍政権打倒へ向け、市民と野党の共闘を積極果敢にすすめる共産党への信頼と期待も寄せられています。安倍政権が国民の批判に無反省のまま憲法9条破壊を加速させる重大局面の中、安倍政権を追い詰めるたたかひを、ご一緒に進めようではありませんか。

核兵器廃絶に、歴史が動く

ニューヨークの国連会議で、核兵器禁止条約が国連加盟国の約3分の2の賛成で採択されたことは、戦後一貫して核戦争阻止、核兵器禁止・廃絶、被爆者援護を掲げ続け、国連会議の成功にも貢献した党として大きな喜びです。

戦後、米軍占領下で原爆反対の声を上げ立ち上がった先輩たちのたたかひを胸に刻み「核兵器のない世界」の実現へ、唯一の戦争被爆国の党として力を尽くします。

100周年に向かって

歴史の本流と逆流が激突する戦後かつてない激動の新しい時代の中で、日本共産党の役割と責任はますます重要となっています。

5年後は党創立100周年です。世界も日本も歴史的転機の今、一人でも多くの方に、党に加わるとともに「赤旗」をご購読いただくことを心から呼びかけます。

7・19 戦争する国にするな!! へきなん行動

7月19日 ヤマナカ前で「19日へきなん行動」が行われました。

午前10時から、文化会館ホールで名誉市民の故 平岩慶一市の市葬がおこなわれました。

12時から、日本共産党市議団3人、新日本婦人の会、市民の皆さんなど7人が参加。

「共産党がんばってるね」

「核兵器廃絶の、国連採択は知ってるよ。みんな核兵器なくさなあかん」

「加計学園で、安倍さんが政治を好き勝手に歪めてる。ちゃんと真実をはっきりさせてほしい」などと、毎月やってきて市民の反応の変化が際立っています。ヒバクシャ署名は24筆。汗だくの笑顔で1時間が終わりました。



支持率暴落の安倍内閣は 総選挙で審判を 解散して国民に信を問え

比例は日本共産党 13区 下島 良一の 抱負

「政治の私物化は許せない」「憲法改悪を止めなければ」「戦争法、共謀罪など多数で民主主義と平和を足蹴にすることは、絶対ダメ」など安倍内閣への怒りが広がり支持率は2割台に暴落しました。解散して国民に信を問え、解散総選挙で審判をの世論が広がっています。

日本共産党は、比例代表で議席増を目指し、選挙区では野党共同に努力しています。13区では、いまだ共同となっていないため、13区は下島良一氏を先頭に日本共産党は奮闘しています。



13区下島氏が、国政にのぞむ抱負を語りました。

私は、18歳から農業をはじめて54年。碧南市農業委員は45年務めました。農業の変化を現場で体験してきました。1960年代、需要が伸びる農産物の生産を増やし、需要が減る農産物の生産を減らす「選択拡大政策」が進められました。農家は、資金を借り入れ養鶏、

戦争する国ノー19行動

次回は8月19日(土)

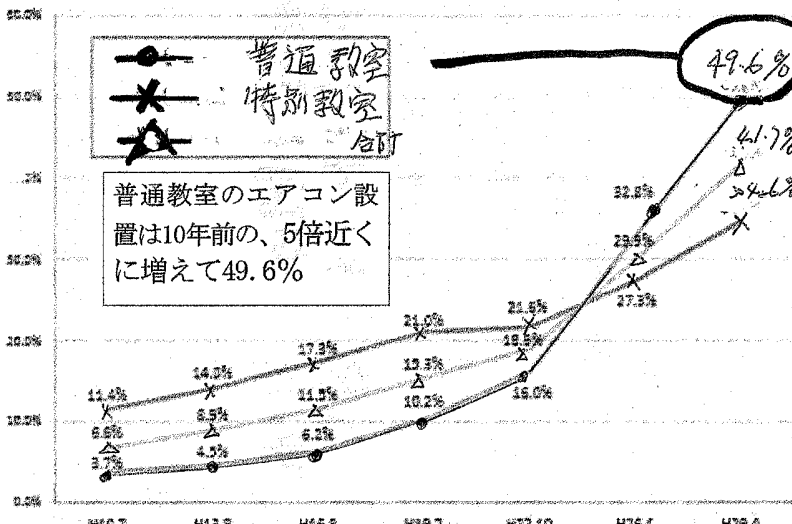
午前11時~12時

ヤマナカ前

養豚、温室栽培などに転換しました。さらに、70年代には減反政策により稲作農家が減少。90年代には、農家と消費者を結ぶ産直運動が始まり、全国に産直センターができ、農家は自分で価格をつけて農産物を売るようになりました。農産物の輸入を増やし、国内農業を破壊するTPP協定は米トランプ政権の自国保護政策でとん挫しましたが、安倍自公政権は固執しています。日本の地域農業を守るたかいは、まだ続いています。国民の食べ物をつくる農家の立場から、原発ゼロを実現したい。人間の力でコントロールできない放射能汚染は、取り返しがつきません。再稼働を進める安倍内閣を退陣に追い込むために、全力を尽くします。

【略歴】
碧南市議5期。くるくるの実現に尽力

普通教室エアコン設置率

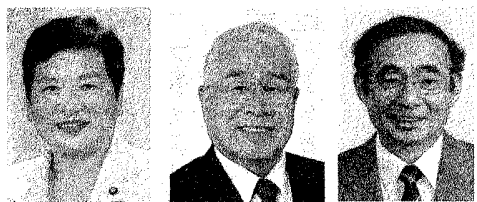


順位	設置率
1	東京都 99.9
2	香川県 97.7
3	福井県 86.5
4	群馬県 85.7
5	京都府 84
6	沖縄県 79.6
7	神奈川県 79
8	大阪府 77.3
9	埼玉県 76
10	栃木県 73.3
11	山梨県 65.6
12	福岡県 65.5
13	福島県 65.1
14	兵庫県 58.8
15	岐阜県 55.2
16	茨城県 50.8
17	佐賀県 47.2
18	広島県 45.2
19	石川県 44.6
20	千葉県 44.5
21	和歌山県 44.5
22	徳島県 38.9
23	鹿児島県 35.8
24	愛知県 35.7
25	大分県 33.8
26	三重県 32.8
27	熊本県 32.4
28	全国平均 49.6

碧南小中普通教室にエアコン

	H10.7	H13.8	H16.8	H19.7	H22.10	H26.4	H29.4
普通教室	3.7%	4.5%	6.2%	10.2%	16.0%	32.8%	49.6%
特別教室	11.4%	14.0%	17.3%	21.0%	21.6%	27.3%	34.6%
普通教室・特別教室	6.6%	8.9%	11.5%	15.3%	18.9%	29.9%	41.7%

日本共産党碧南市議員団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町2-70-4 笹山町6-29 若松町3-253

みてる
24位

文科省が6月調査、49%小中普通教室エアコン設置 最高3億円の設置補助も

文科科学省では、公立学校施設における空調（冷房）の設置状況について、平成10年度よりおおむね3年に一度調査を実施しています。平成29年度の調査結果が6月9日付で公表されました。

大規模改造事業の中で、空調（冷暖房整備）も補助対象になっている。（補助率は原則1/3）（財政力指数1.00超の地方公共団体2/7）※対象工事費 下限額 400万円〜2億円（過去において児童生徒が急増した市町村にあっては3億円）としています。碧南市は、「子どもを甘やかしてはいかん」（ねぎた市長が高齢者学級で発言）と普通教室にはエアコンが設置されていません。冬場は中学校の暖房もなし。本当に「甘やかして済まされるのでしょうか。」